



—東地中海地域ニュース—

シリア：バッシャール大統領の発言

(10月28日付シリア国営通信社)

10月28日、バッシャール・アサド大統領はクロアチアを訪問し、同国のメシッチ大統領と会談後に共同記者会見を行った。概要は以下のとおり。

中東和平

- (1) 過去20年間の中東和平プロセスにおける失敗は、中東及び世界の治安と安定を保障するため、停滞中の和平プロセスを再活性化させるという新しい責務を、欧州諸国に投げかけている。
- (2) シリアには和平達成のための交渉継続に対する民衆の支持がある。これは政府・国家として非常に重要である。同じ方向に進む意思のあるイスラエル側パートナーの存在によりこの問題に解決がもたらされる。
- (3) 当然、我々は交渉プロセスにおいて仲介者もしくは後援者を必要としている。昨年8ヶ月にわたる間接交渉を行った際のトルコの仲介は極めて有効であった。現段階で欧州諸国に求められていることは、トルコの役割を支持することである。

イラン核問題

イランの核問題に関する対話政策を通じて最近達成された事項について、シリアとして大いなる安堵を表明する。核エネルギーの平和利用の恩恵を受ける諸国および諸人民の正当な権利を踏まえれば、対話政策が地域の問題を解決する唯一の方策であることは、いつも申し上げている通りである。

対EU問題

- (1) シリア・EU関係はめざましく発展している。この関係には協力とパートナーシップという二つの軸があり、パートナーシップとは協力の為の法的枠組みである。
- (2) 現段階では、シリアはパートナーシップではなく、協力を優先させることとした。何故ならば、法的・技術的枠組みであるパートナーシップのためには、それがシリアの利益を完全に実現することが出来る枠組みであると見なすことが出来るよう、更なる議論を重ねる必要があるからである。

四海構想

アドリア海は独自の名前を有しているものの、実は地中海とは一つの海である。メシッチ大統領との会談では、海上輸送の合意を締結することで、両国の港湾を接続することについて話し合った。